

令和元年のこの記念すべき年に「ハートバンド」全国大会の閉会の挨拶を仰せつかり大変  
光栄に存しております。一般社団法人交通事故被害者家族ネットワークの理事をしてお  
ります上田と申します。私は今回の全国大会のチラシ作成とか大会の撮影などを担当  
させていただいておりますが、毎年チラシ作成の時期がくると「ああまたこの時期やや  
ってきたな」と感慨深いものがあります。

私は遺族ではありませんが、18年前に母親が交通事故で重度の障害を負い長年在宅  
介護などをしてきました。その間、賠償問題ばかりでなく社会保証や社会福祉の使い  
方に奔走する18年でした。さすがに18年も経ちますと今の生活に慣れてしまい、18  
年まえのあの悔し辛かった気持ちが忘れがちになってしまいます。そんなときこのハート  
バンドの全国大会は年一度、私に当時を忘れるなと鼓舞してくれている存在でもありま  
す

さて

被害者の声では佐世保の御手洗さんそして熊本の村上さんからお話をいただきました。  
本日ご登壇いただきましたおふたがたのお気持ちを鑑みてに私の心も再起動のごとく  
鼓舞いたしました。ありがとうございました。

また、今年初めての試みでハートトークを企画させていただきました。いかがだったで  
しょうか?いろいろご意見もあると思いますがぜひアンケートにご記入いただければ幸い  
です。

今年もご来賓の方々やご支援くださる方々にもたくさんお集まりいただきましたこと  
を、心より感謝申し上げます。

最後に、「ハートバンド」の集まりが、未来永劫社会の礎となっていくことを祈願いたしまし  
て閉会の挨拶とさせていただきます。今日は、ありがとうございました。